



第 3 号 昭和50年 4 月 1 日  
発行・者 群馬県山岳連盟  
〒371 群馬県前橋市大手町 1-1-1  
TEL (0272)23-1111 内線51・520  
群馬県観光課内  
編集者 群馬岳連編集委員会  
責任者 太田 忠 行  
印刷所 (株) 高橋 印刷  
定価 1部50円

# 自然保護と登山者



岳連常任理事 富山 真

自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう。

自然に学び、自然の調和をそこなわぬようにしよう。

美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

これは昨年六月五日国民総意により制定された、自然保護憲章の中核的な主眼である。この自然保護憲章は、自然保護に対する国民の、そして私たち登山者にとっての指標となるものであつて、その制定の意義は極めて大きいものがあると思ふ。

近年我が国の自然は、近代化の名のもとに著しく破壊されつつある。紅葉の名所、美しい溪谷、雄大な山々、美しい湖畔など人々の心を惹きつける豊かな自然は多く観光地化され、人の手が加えられ、こみにまみれて痛ましい姿を呈するようになってきた。

私たち登山者もここで自然保護の問題について、あらためて考える必要があるのではないかと思ふ。

すこし以前までは、自然保護と

いうものは、珍しい生物や美しい景色の場所を保存する等の考え方が大半を占めていた。しかし最近、人間も自然の中の生物の一つであり、自然が減るときは人間も生きていけないという認識のもとに、自然保護が叫ばれるようになってきた。

現在、自然保護ということばの使い方にはかなりの混乱が見受けられるが、これは二つの考え方を単純に自然保護ということばで表現しているためである。

考え方の一つは、自然のあるがままの姿を人手を全く加えずに「保存」というもの、もう一つは自然の賢明な利用をはかりながら自然を「保全」という考えである。

このような考え方になつて自然保護の目的を考えてみると、まず第一が「象徴性」の保護といわれるようなものである。つまり感覚的にみれば自然は、風景で代表されますが、果ては国を代表する自然の風景は永遠に保全するというのである。

第二の目的は、「学術性の保護」ということで、科学的な見方から学術的価値の高い自然を保護しようとするものである。

厳肅さに目ざめ、自然を征服するとか、自然は人間に従属するなどという思いあがりを持って、自分の登山の師であり、修業の場である山の自然をよこしたり、破壊しないよう山を大切に、永遠に美しく保存するため勇気を持って、最大の努力を払う責任があるのではないだろうか。

## 県山岳遭難防止 対策連絡協議会

暫く開催されなかった協議会が、谷川岳における一連の冬山遭難事件を機会に、二月三日県庁において開かれ、事故対策について協議された。

主眼議題は、①谷川岳冬山遭難防止、②遭難に伴う通信施設、③協議会の改組。

①の遭難防止については、主として登山条例について論議が集中し、特に冬期の適用条項の解釈について一般と県当局の間に違いが見られた。登山者側から見れば、完全な禁止条文とは判断出来ないが、当局側の主張は、禁止と同等に扱われる意味を持つていたことである。

条例に関する主な発言要旨  
▽中島副会長  
谷川岳の冬期登山は自殺行為であり、条例を改め、全面禁止にすべきである。

▽外勤課長  
全面禁止は、法的にも運用面においても、問題があり、不可能ではないか。

▽観光課長  
条例の細部について、運用面から

いよう山を大切に、永遠に美しく保存するため勇気を持って、最大の努力を払う責任があるのではないだろうか。

## 岳連の行事予定

五十年度の行事について、去る二月の合同新年会の席上、各担当部門から計画が出されました。これについては総会の承認が必要となりますが予定では六月となりますので暫定処置として、四月から六月まで行事は計画に基づいて実施することに致します。

五月 ①春山合宿検討会  
②海外登山研究会総会  
③連休の谷川パトロール  
六月 ①一般対象救助訓練  
②救助隊訓練  
③国体選手選考会

以上が行事予定ですが具体的な内容については、担当部門から連絡が行きます。

嶺呂のいわれ  
嶺呂とは、万葉集の中に出てくる言葉で、嶺は、山々・峰々の意味で、呂は親愛・感動の念をこめて使う接尾語です。万葉集、上毛野国の歌の中に、「久呂保の嶺呂」(赤城山)とか、「伊香保の嶺呂」(榛名山)などという風に使用されており、群馬岳連の会報の名にふさわしいものと思ひます。命名者は浜名会長です。

久呂保の嶺呂は赤城山のことで、黒々とした山頂付近の針葉樹が遠望されるところから、また伊香保の嶺呂は、いかつい大きな山々の意で、ホは高くそびえている様子を表わし、いずれも麗の人々が親愛をこめて呼んでいたようです。

(川辺柳一 記)

# これからの国体

## 山岳競技の方向

岳連副会長 赤石春親

現行の国体登山が、採点種目へ

の移行を前提として優秀チームに

表彰状を授与する様になったこと

は、第20回の岐阜国体の国体

委員会の席であって、この席上

において私は講評の場で優秀チーム

の公表は誠に結構だが、只単に言

葉でのみ称えるのではなく賞状又

は、それに準ずるものを授与して

後々迄に残るような方法を講じて

貰いたい旨を要望して、出席者の

多くの賛成を得、翌21回の大分国

体で決定をみた。

実施は次の埼玉国体からと記憶

している。

登山が競技として扱われること

については、種々と批判もあり、登

山の特質とかけ離れるものとし

て、現在実施されている表彰状の

授与に至るまでの段階においても

一部においては相当の反対があつ

たのは事実であつた。

その最大の理由は登山という行為

に採点をし、順位をつけるという

事であつた。

しかし、この事はたとえオープン

ではあつても国体の場で登山競技

終了後、口頭ながらも優秀チーム

の発表が行なわれていたことであ

り、その当時としては採点する

側の技術的問題であつた様に思ふ

が、現在ではその点も非常に改善

され、個人差も少なくなつて来て

監督は一県七名であり、これをどの様な構成にするかという事がその後の日体協との交渉の問題点となつたよし、得点種目ということを考え交渉の結果、次の様に決定された。

監督一名選手三名上チーム一チームの構成リダー一名 30回以降は成年、少年の層になり成年と少年の混成は認めない。

一県二チーム(六名)を構成する場合、これらの選手を掌握するのが監督であるとの意義づけは、種目別としての構成から言つても監督一名というのが順当であらうという事で、監督は選手との健康、安全管理、作戦会議の主柱であり、これが性格であらうとの考え方、又監督は競技に参加出来ないとの事から、では監督はどの様に位置付けしたら良いのかという問題に関しては明年の日山協総会迄に決定をしたいという事になった。

55年迄はこの構成で実施されるとの事であつた。尚、種別としては30回以降は、成年男子・女子、少年男子・女子(満19才以下を少年という)という構成である。

以上先日の茨城国体における国体委員会に出席してその会議の内容の一部を申し述べ、併せて国体の山岳競技についての私の考え方を記した次第です。

(紙面の都合で一部原稿を割愛させていただきます)

なお、昨年の茨城国体で本県一般は優秀な成績をおさめ表彰されました。………編集委員会

## 氷壁技術講習会

日時 二月二日

場所 松木沢(足尾)

昨年に続き、再び氷壁技術講習会を松木沢で行ないました。

当日は、田中指導員長及び、講師に小暮(境町)、山田(沼田)両氏が当り、参加者二十一名を初心者と上級者に分け、初心者には、ピッケル・アイゼンによる氷壁登攀と確保の方法や、アイス・ハーケン



## 冬山合宿報告会開かる

日時 一月三十一日 PM 6.30-10.00

場所 体協会館

参加者 十六団体 三十八名

昨年末に検討会を催した際、入山子定団体として参加した十六団体十六パーティーのリーダーを集め、合宿における成果と、問題点について報告会を開くべしとの声に従い、指導員会で作成した報告書の形式に基づき、各パーティーのリーダーが行つた。

今年も多くパーティーが、最も核心にせまる段階において、悪天候に災いされ、苦労されたようだ。尚今冬は残念なことに、滝沢スラブにおける鷗山岳会遭難事故が発生してしまつたが、伝統と卓越した技術力を持つ会でも、自然の力に抗しきれず悲惨な結果を迎えてしまつた。

仲間として冥福を祈ると共に、これを他山の石として生かし、遭難の予防に努力しなければならな

いことを自覚しよう。報告会では特に目を引いたのは、前橋山岳会その他の会で示された、用具についての研究報告で、始めて用具を見せられた他の会の参加者には大変参考になったと好評であつた。

報告会における主な問題点  
▼用具、食料について  
▼トランシーバーの通信範囲  
▼デポ物資の盗難事故  
▼その地域における最近のルートについて

以上の中で特に問題とされたのは、苦労した荷上げ品の盗難で、北鎌尾根に入山した伊勢崎・太田の両パーティーが被害を受け、スケージュールの変更は勿論のこと、一歩間違えば遭難することにもなりかねず、この面でのモラルの低下は残念なことで、防止について

は声を大にして訴えなければなら

ない。

達についても努力をして頂きたい。

終了後は、ミーティングを行ない、何点かの問題点も出されたが、岳連主催行事も、それぞれの会の実情により、連絡が未端まで徹底しないため、参加の機会が得られなかつたとの意見が出された。

この面でのPRについては、注意しなければならないと思う。上級者が習得した技術は用具の利用について画期的なヒントが得られたのではないかと。今後はその応用範囲の拡大と用具のオリジナル化が益々進められる事と思う。

参加者は、この技術をより確実なものとし、実践において活用出来る努力をおこたつてはならないし、自信がつけば、これら技術の伝

い。

美と健康のお手伝い

ブリヂストン自転車  
ナショナル自転車  
ホンダのオートバイ  
サイクルショップ

ヤギハラ

前橋市下細井町139-3  
TEL 0272-31-1308

ショウイナードザツク特売中!  
アタックザツク数十種類大行進!!

山とスキーの店  
有限会社 石井

伊勢崎市中央町18番8号  
TEL 0270-25-0272

## インドヒマラヤ登山隊報告

## 伊勢崎山岳会

(前号よりつづ)

八月三十日、デリーのバスター 備等も整った。ただこの後テント、ミナルより我々はマナリに向け出発、夕刻シムラ着、シムラは寝袋、衣類等を盗難にて失ってしまった。急拠、借り入れて六日バ観光避暑地で標高二千メートルの涼しい所、疲労のたまった体には心地よい一夜であった。三十一日マナリ着、九月一日待望のマナリへ着いた。素晴らしい所で上高地を拡大した様な感じである。このマナリがなければヒマチアル方面の日本隊は登頂の確率が減るのではないかと思われる程休養になる。私などは気がゆるんで体調を悪くしてしまった程であった。ゲートハウスにて待っていたシエルバ、ナムギャルとレドナムの二名を雇用する。余談ではあるが、このマナリには実質的なシエルバは五、六人であった。その残り者の福が我々のシエルバであった。三日にはシエルバの助けで食糧、装



地より草の上にテントを張った。翌朝ポーターが集まらず二日に分けてB・Cへの荷上げをする。十一日先発は三九五〇メートル地点に仮B・Cを設営。十二日、四一五〇メートル地点にB・Cを設営する。天上の楽園というのがピッタリする様な所であった。ガングスタンが目の前に二千メートルの槍の様にそびえ、小川が流れ、エーデルワイスのお花畑の中であった。一日休養の後、我々の山探しから始まった。両隊員の働きで、あの山あたりであらうとの怪しげな結論に達した。十四日、ここで高度障害で体調を悪くした隊員Tをナングールに下げた。十九日、CIIを四七〇〇メートル地点に設ける。ここで始めて我々はPK六〇九メートルを見る事が出来た。(後で知った事であるがチロツト谷の下部でほんの少しこの山を見る事ができる。)ここより二つのアイスフォールに一五〇メートル程ロープをフィックスし、二十二日にCIIを設営、全員二十三日にCII入りをした。我々には初めての体験である氷河の真中のキャンブである。前日に一人でここに入ったNなど氷河の種々の音や、時々亀裂が出来るので不安な顔で我々を待っていた。すぐに偵察に出た。二十四日戦列に復帰したTもはりきり六一〇九メートルの西尾根のコルまでロープをフィックスした。しかし天候の周期が悪くなる様な雲が流れ始めていた。まだ一日は大丈夫と二十五日アタックと決定する。四時四十五分前日に

散は、ポーター、シエルバ、連絡将も涙せずにはいられなかった。近くて遠い国インドと別れて、全員十月末日までには帰国した。

## オリエンテering入門

指導員 悴田正也

最近、オリエンテeringというスポーツが活発に行なわれ、普及しつつあります。県岳連でも指導員会の行事として、六月十二日に講習会(座学)を、六月十六日に、赤城青年の家周辺で四十数名の参加をみて、大会が行なわれました。このオリエンテeringというスポーツは、山に登る人達にとっても非常につながりがあり、自然を舞台として展開されるという共通点の他、特に地図と地形の判断・現在地の確認と体力を實際に調べる点に、すぐれた確かな行動をとることが出来る能力を養うことを目的とする。競技者には、方向探知能力の方が優れている者と、体力の方が優れている者があるが、一方だけには有利にならないようなコースを決定することとし、やむを得ない場合には、方向探知能力をより要求するようなコースを選ぶべきである」としています。つまり人間が全人的な発展をするのに必要で、判断力・推理力・記憶力・行動力・方向決定技術・体力などを養うのに最適なスポーツです。クロスカントリー・自動車のラリー・宝さがしなどの要素が含まれ、人間が歩いたり、走ったりしながら、地図とコンパスをたよりに次々とポストを探していくスリルと楽しさが含まれています。

そこで紙面をかりて、オリエンテeringの概観について述べてみます。オリエンテering大会という語を耳にし、目で見たら、時間を生み出して参加して下さい。このスポーツはスウェーデンで生まれ、おもに北、及び西ヨーロッパで育ったものです。日本へ入ってから、まだ十年足らずです。国際的にも組織があり、公用語はドイツ語です。オリエンテeringのことを「O・L」と略称して呼びます。つまり、ORIENTEERING方向を定め、LAUF走る(次ページへ)

オフセット・活版・タイポオフ印刷

山の好きな男のセトモノ店

(有) 高橋印刷

山崎ビル

高崎市台町13  
TEL (0273) 23-3448県庁通り 前橋ビル ☎0272-21-1678(代)  
卸部 前橋市問屋町 ☎0272-51-1000(代)



寄贈された、ワイヤー・デスクブレーキ・滑車ワイヤーパシゴ・フィックスロープワイヤードラム、など

## 遭難防止活動に寄付金

O・Lはいろんな型式があり、多くの方法やさまざまな器具を使用(スキー・自転車・ボートなど)して行なわれる他、参加者の体力、技術により、いくつかのクラス分けが行なわれ、初心者も初心者クラスで、ベテランはエリートクラスで、自分の力をためることが出来ます。また日本独自のものとします。

(次号へ続く)

群馬岳連の遭難防止活動の一助に、次の方々から寄付をいただきましたのでお知らせします。

- 一、東京都世田谷区桜上水三ノ二 高田進六さん S 49・3・14
- 二〇万円 S 49・3・14
- 遭難救助用具の購入費として、一、神奈川県川崎市川崎区昭和一ノ一七 増田勇一さん S 49・10・16

遭難防止対策基金として、高田さんは、生前群馬の山々を愛されて亡くなられたご親族の、増田さんは、谷川岳で遭難されたご息の香典の一部を、ともに遭難防止に役立つように寄付されたものです。この尊い善意に感謝しながら、なお一層遭難の防止に心掛けたいものです。(事務局記)

## 岳界通信

### 積雪期救助訓練

昭和四十九年度最後の救助訓練は三月一六日谷川岳天神尾根において、ヒッゴリ沢側の急斜面を利用して、雪上におけるウインチ操作、アンカーの取り方(スノーバーデットマン使用法、スキー使用法)等実践しながらの猛訓練を行った。

隊員二〇名の参加を得、午前七時から約八時間にわたる訓練の後、田尻沢から帰途についたが、途中熊穴沢との合点で骨折して救助を待っていた埼玉県のスキーヤーを発見し、直ちにスキーを利用して搬出した。

### カラコルムトレッキング

パキスタン北部に位置する「カラコルム」に、海外登山研究会から四名の隊員が偵察に行くことになりました。六月上旬から七月上旬まで。

この地域には、ナンゲ・バルバット・K2・チョゴリザなどの高峰が連なり、一昨年末までは登山禁止となっていたのが昨年から解禁となり、我が国からも多数の隊が入山しました。

今回は、この中心に位置する「ヒスパー・ピアフオ氷河」を踏査する予定です。隊員は次の通り。隊長Ⅱ奥原彦治(群馬カモシカ) 隊員Ⅱ岡庭 清(ミヤマ)・小林 清(同・山田 昇(沼田))。



### カモシカ同人

#### ダウラギリIV峰へ

一九七二年、群馬岳連がめざしたダウラギリIV峰へ、この度、カモシカ同人登山隊が登頂すべく、準備を進めている。

ダウラギリIV峰を目指した各国登山隊は過去10隊にも及ぶが、いまだ頂上には明け渡されていない。今回参加の十数名の隊員の中には、わが群馬岳連から八本原園明、宮崎勉の両氏が加わっている。

行動予定としては本年八月一日に日本を出発し、九月一日〜十一月十日の間登山活動し、帰国は十二月十日となっている。

### 谷川岳危険地区登山禁止

谷川岳は例年になく豪雪にみまわれております。群馬県では次のとおり登山禁止と決定しました。

#### 記

一、禁止区域 マチガ沢、一の倉沢、幽の沢、南面(中ゴイ尾根を除く)の危険地区

### 初の岳連合同新年会

迦葉山の天狗もビックリ 最初の試みである、岳連合同(理

事会・高体連・指導員会・救助隊・海外研究会)の新年会が、沼田市外の迦葉山入口の「みのや」で開催された。

当日は、猛吹雪のため道路が定かでないため、途中で遭難した車も有ったが、予定者のほぼ全員に近い参加が得られ、深夜まで飲み、かつ語り明かし楽しい一時を過ごすことが出来た。

翌日は、各部の行事予定を含めた五十年年度の岳連行事の起案がなされた。これは後日、理事会において検討されることになろう。

尚当夜は、迦葉山の天狗にひけをとらないほどの、赤鬼共の飲んだ酒の量は三六名で、総量約二斗でした。念のため報告します。

新年会に御芳志を頂いた方々は次の通りです。

群馬県観光課、鶴翔山岳会、群馬カモシカ山岳会、石井謙一郎、太田忠行、戸塚一郎、大井清

ありがとうございます。

### 連休中の谷川パトロールに参加しよう

今年には例年になく残雪が多く、連休中も谷川岳地域は大変危険と

思われます。このため事故を未然に防止すべく危険地帯へ立ち入る、一般登山者や観光客の指導が大切なこととなります。

### 高体連行事

本年の高体連登山部の年間行事として、次のような計画が予定されています。特に本年は九月に谷川岳で関東高校登山大会が行なわれ、その準備も着々進んでいます。

四月二九日 天気図講習会 伊工 初級・中級に分かれ、基礎技術を学びます。顧問・生徒対象。

五月一六〜一九日 四阿山周辺 県総合体育大会登山大会 登山部加盟の五〇校前後が参加し、基礎技術の習得を目標とす

る一般参加と全国・関東大会の出場校を選ばず選参加とに分かれる大きな大会です。

六月六・七日 夏山指導者講習会 顧問を対象に、自分達で飯をつくり、テントに寝ることに

より、交流を計り、基礎・応用技術の習得につとめます。場所未定。

七月一三日 夏山合宿計画書検討会 顧問・生徒対象で、各校が合宿計画書の概要を持ちより、経験交流、情報交換を行ない、夏山合宿の基礎や危険性、注意点などについて、話し合いを行なつた

### 編集後記

先日、ある小学生のテストを採点する機会に恵まれたが、中にはナヌノという感じのや、ユーモアたっぷりの回答にぶつかり大笑いしながらも自己の昔日に想いを馳せた。今回はじめて編集に参加させて戴いたが、諸兄の原稿を読みながら、また同じような気分を味わう嬉しさ。尤も教養があり余つていらつしやる方の文章には広辞苑にも出てない専門語があり、大変勉強になりました。岳人とは

学人と見受けたり(吉沢康夫) 編集者の一人、この男昔から文章を書く事が好きでなかつた。しかし書く事と原稿集めや割りつけとは別のことと考え、顔をツツ

ったが、一、二、三と続けているうちに興味が出てきたようである。これからは内容をもっと充実し、長続きのする会報にしたいと言つて

いた。(いちばん若い編集者)

### 広告募集

額 4,000円  
金 7/1  
法 B 5  
寸 B 5  
14/1  
但し凸・写真代は別  
連絡先 371  
〒 前橋市上佐島町1499の3  
TEL (0272) 650 4 5 3  
太 田 忠 行